

# 働き方・休み方改善 ハンドブックのご案内

顧客満足と従業員満足を通じた地域社会への貢献

小売業(スーパーマーケット業)編



社員が休みを  
取りやすくするには  
どうしたらいいだろう。

業務効率を改善して  
生産性を向上したい。

人材を確保するには  
どうしたらいいだろう。

生き生き働いてもらって  
離職を減らしたい。

長時間労働を抑制して  
現場の社員の負担を  
軽くしたい。

スーパーマーケット業を  
より魅力ある職場にしたい。



同業各社でも  
工夫をしています!

## 働き方・休み方の改善の取組事例を参考に 職場環境の見直しを行いましょ

- ・所定外労働の抑制と収益性の両立を図るといビジョンの下、取組を続けている事例
- ・パートタイマーの能力開発・権限移譲などで生産性向上と社員負担の低減に取り組んでいる事例
- ・モーニングリーダー・ナイトマネージャーなどの活用で店舗管理職の負荷低減を図っている事例 など

●厚生労働省の「働き方・休み方改善ポータルサイト」(<http://work-holiday.mhlw.go.jp/>)では、2016年4月より働き方・休み方改善ハンドブックがダウンロードできます。また、多くの企業の取組事例なども閲覧できます。

▼ハンドブックのダウンロードはこちらから▼

<http://work-holiday.mhlw.go.jp/handbook/index.html>



## 働き方・休み方改善ハンドブックについて

このハンドブックでは、小売業（スーパーマーケット業）の企業における主として正社員の働き方・休み方の改善に役立つ取組を紹介しています。事例は、いずれも日々働き方・休み方の改善に向けて努力を続けているスーパーマーケットの協力を得て収集されたものです。自社の働き方・休み方の改善に向けた取組にぜひ活用してください（ハンドブックの作成のため収集した、全国のスーパーマーケット15社の取組事例は、資料編として、働き方・休み方改善ポータルサイトに掲載しています）。（2016年4月に掲載）

### ハンドブック作成メンバーからのメッセージ

#### 小売業（スーパーマーケット業）の企業が働き方・休み方の改善に取り組む意義とは??



消費者ニーズの多様化と期待水準の上昇の中で顧客満足を得るためには、スーパーマーケット業界として、採用と定着を通じた人材の確保を図り、人材の育成と活躍につなげることが重要！

正社員の家庭生活や社会生活の充実につながるような働き方・休み方の改善を通じて、企業と業界の就職先としての魅力を高めることが必要！

従業員満足度の向上により、社員の士気が高まり、消費者ニーズへの対応も充実し、顧客満足度の獲得につながる！

スーパーマーケットが良好な雇用先としても、質の高いサービスの担い手としても地域社会に貢献するには、各企業の働き方・休み方の改善に向けた取組が今こそ求められている！

#### 小売業（スーパーマーケット業）における働き方・休み方を改善するための いろいろな取組が紹介されています

業務量に応じた  
要員配置が必要。  
そのための  
予測精度の向上を。

長期の休暇予定の  
相互公開で計画的に  
休みが取れるように。

全社横断、人事部門や  
労働組合との協働など  
による検討チームの  
立ち上げも。



きちんと休みが取れるように、  
お互いの仕事をフォロー  
できるよう多能化を。

パートタイマーの能力開発や  
権限移譲で社員の負担軽減と  
生産性向上を。

ノー残業デーや  
閉店後の退店時間の  
ルール化をして、  
長時間労働を抑制！

#### ～本ハンドブックの検討体制について～

本ハンドブックを作成するにあたって、検討委員会を設置し、委員長：佐野嘉秀 法政大学経営学部教授、委員：新日本スーパーマーケット協会、スーパーマーケット企業3社、UAゼンセンに参加、ご協力いただきました。